

今後の日程

(5月)

5/19 和歌山人権研究所第1回総会・第12回記念講演会

(プラザホープ)

5/22 部落解放・人権政策確立要求第1次中央集会 (東京)

5/22 Y住宅販売会社差別事件打ち合わせ (東京)

政府統一交渉 (東京)

5/23 狭山ビラ統一行動

5/23 狭山事件の再審を求める市民集会 (日比谷野外音楽堂)

5/24 第38回女性部定期大会 (同和企業センター)

5/25 第35回県連青年部大会 (同和企業センター)

(各支部大会)

5/26 新宮

5/30 鳴神・笠田東

差別をとめる力を!! 女性部で学習会



講演する宮前千雅子さん

講師に宮前千雅子・関西大学人権問題研究室委託研究員に「わたしから始まる人権」出合い・かわり・つながり」と題した講演会であった。はじめに「わたしの紹介カード」を使って自分のことをアピールす

るワークショップをして本題に入った。宮前さんは大学生のとき「うちは血筋が違う」と母からいわれたことで部落出身であることを知った。血筋についていま問題となっている過去帳開示のことも触れた。そして、女性の課題(ジェンダーの視点)のなかでも、部落女性の問題は欠如しており、部落女性みずから実態調査をおこない、データ化したことでエンパワーメントされたことが語られた。いま、ヘイトスピーチやインターネットで差別する力の方が強くなってきているが、差別をなくす力は弱めることなく引き継いでいく

身近な課題説明

出前講座

和歌山市男女共生出前講座が3月15日、鳴神文化会館でおこなわれ42人が参加した。

社会の「一員として」

県障害者計画

ことが必要だと語られた。参加者からは「身近な課題で時間がすぎ過ぎた」一部

落出身の先生はとても共感できた」との感想があった。

第4次和歌山県障害者計画(紀の国障害者プラン2014)にかんする説明を2月25日、県連事務所でおこなわれ、松井辰也・生活労働運動部副部長、藤本哲史・県連書記長、歌坂憲彦・障害者部会長、橋本和弘・同会員、事務局2人が参加、学習した。

この計画は「紀の国障害者プラン2004改定」の計画期間終了にともない、新たな法制度や社会情勢に対応した新計画を策定し、障害のある人もない人も社会の一員として互いに人権を尊重し、支えに

点のパブリックコメントを提出した。

「ある精肉店のはなし」

上映決定! 県連解放学校で

映画の冒頭、シヨッキンな場面でスタートするこの映画。牛の眉間をハンマーで打ち気絶させ、頸動脈を切り放血する。多くの人がはじめてみるであろうこのシーンに、拒絶感をもつ人もいるだろう。個人差もあるだろうが、私は最後に幸せな気持ちになった。それは、牛であれ、野菜であれ、命をいただいで私たちが生きていく。ということとを北出兄弟が教えてくれたからだ。食事の前に「い

ただきます」と手を合わせるのは「命をいただく」という当たり前のことを、再認識させられた。今年の解放学校で、映画「ある精肉店のはなし」の上映と出演者の北出新司さん、監督の額縁あやさんの対談をおこなう。

■日程 7月6日(日)
14:00 基調提案
15:00 対談
15:30 上映
■場所 プラザホープ

ある精肉店のはなし



『祝の島』につづく 額縁あや監督作第二弾



織田悟の全仕事

inあとりえ西濱

2月11日に急逝された織田悟さんの仕事を紹介した展示が3月15日から21日、大阪市浪速区にある「あとりえ西濱」でひらかれた。織田さんは、近江八幡で靴の底付け師として60年の



追悼展のようす
は「今でもそばに師匠を感じる」と涙ぐんで語った。

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連合会内 解放新聞和歌山支局宛